

昭和 59 年、初めて代替療法に接したが、前前、東京医科歯科大学耳鼻科教授堀口申作先生の B スポットの治療でした。横浜の洋光台にある息子さんのクリニックの 2 階で自由診療にて治療されていた先生の外来を週に 2 回、2 年間見学させていただきました。治療の内容は鼻咽腔に 0.5%の塩化亜鉛を塗るという単純なものですが、私の印象としては喘息、慢性関節リュウマチに特に効果があるようでした。先生の語録としては、B スポットは全身のインフォメーションセンターです。口内炎の治療はこれしかない。鼻が全身の痛みを代表している。体の粘膜は一緒ですから鼻につけると他も治る。などです。とにかく治療が痛いのと治療後出血が数時間続くので継続するには勇気がいりますが、炎症が良くなっているかどうかは治療時の出血が止まることで判断できます。平成 8 年 12 月にご挨拶に伺った時にも診療室は患者さんで一杯でした。それ位効果があったということです。翌 9 年に亡くなりましたが直前までお元気で診察されていました。私は主に喘息の患者に時々使っています。教室のお弟子さんが全国で治療されていますが、東京では神田で田井先生が治療をされていて現在私も通院しています。

並行する形でこの時期勉強したのが O-リングテストです。昭和 60 年当時は東京駅の近くの明治製菓ビルの会議室でセミナーが行われていました。内容の紹介は以前のこの研究所で下津浦医師や福岡先生がくわしい説明をされたので省略しますが、当時の思い出としては被検者として前に出た参加者の胃癌のイメージングをした際、エイズウィルスの反応があると大村医師が発言したため、場内が騒然としたのを覚えています。その後セミナーではエイズウィルスの検査は特別なことが無い限りやらないことになったようですが、癌の患者からはその後も必ずエイズウィルスの反応が出ると大村医師は言っています。これはエイズウィルスが癌の原因というのでは無く、日和見感染のようにして反応が出るのではないかと私は考えています。その後もセミナーに参加するたびに新しい知識を教えていただけるのはスリリングで有難い限りです。平成 7 年の岡山のセミナーの際には難治性のテンカンの子供が大村医師の診断した薬を飲み、薬が脳に入るように手指などを刺激したところ効果は瞬時に現れ、テンカンの発作が出なくなったと父親が驚いていたことが思いだされます。現在勤めてい

る病院では評判が悪く禁止されていますが、将来はこのテスト無しに私個人は診療は出来ないと考えています。

日常診療で一番利用しているのが、次に述べるなおさん注射です。この変な名前には創始者の枝川直義医師の直という字と治さんとする意気込みが込められています。内容を簡単に述べますと、症状の訴えのある付近の筋肉に微量のステロイド入りの生食を 20-50cc という比較的大量を注入し、筋肉のコリを取ってあげると痛みや腫れも引けるし、筋肉のコリが取れたという情報が脊髄神経を通して胃腸や心臓や自律神経系に働きかけこれらの臓器の病気も治療が出来るというものです。私が主に使用する患者は腰痛ですが、初心者が行っても確実に効果が出ます。枝川医師は難病に使用して報告を見る限り驚くべき効果を挙げておられます。残念ながら枝川先生は平成 8 年にお亡くなりになりました。治療はかなりの痛みを伴いますし、例えば胸に注射をすれば気胸の心配もあり、決して簡単な治療とは言えませんが、現在勤務している病院でも院長が興味を持ち、デカ生(デカドロン+生食の意味)と名づけて常備されています。

その他、アプライドキネシオロジー、波動治療器、気の経絡指圧、AKA など学んでいますが、研究会当日はなおさん注射の紹介を中心にお話をさせていただきます。

参考文献

B スポットの発見 堀口申作著 光文社カップサイエンス

昭和 59 年 10 月 5 日初版 650 円

枝川注射療法 枝川直義著 カレントセラピー社

1990 年 5 月 18 日初版 7000 円

図説 AK のテクニック 脇山得行著 エンタプライズ社

昭和 62 年 10 月 14 日初版 13000 円

タオ、気のからだを癒す 遠藤暁及著 法蔵館

1999 年 3 月 20 日初版 2600 円

関節運動学的アプローチ AKA 博田節夫著 医歯薬出版

1990 年 6 月 20 日初版 6850 円